

【別紙】

JRFU レフリー資格の案内 Q&A 2020.5.23 (抜粋：C 級に関する記述のみ)

日本ラグビーフットボール協会（以下 JRFU）では、2020 年度より審判資格制度を整備して、専門的な知識と技術を持ったレフリーなどのマッチオフィシャル（以下、公認審判員）によって公式戦の運営が行えるようにいたします。

【Q 1】どのような審判資格があるの？

【A 1】JRFU の審判資格には「スタートレフリー」「ミニラグビーレフリー（MRR）」「C 級レフリー」「B 級レフリー」「A 級レフリー」の4つがあります。

○スタートレフリーは、これからラグビーの審判員を志す人に対して与えられる資格です。これを取得すると、各協会主催公式戦のタッチジャッジ、コンタクトを伴わないラグビー（タグラグビーなど）のレフリーを務められます。

○ミニラグビーレフリー（MRR）は、12 歳以下のラグビー（ミニラグビー）の試合を担当するための資格です。この資格を取得すると、スタートレフリーの担当に加えて、各協会主催のミニラグビー試合のレフリーを務められます（ミニラグビーではアシスタントレフリー制は採用していません）。

○C 級は MRR の担当試合に加えて、都道府県協会主催の中学生年代（ジュニアラグビー）以上の試合で審判員を務められます。（中略）

いずれの資格も、講習会での学習や実技検定等の結果をもとに、当該資格にふさわしい知識と技能を習得していると認められた方に付与されます。また、各資格とも有効期限は4 年間です。

【Q 2】審判員になるにはどうしたらいいの？

【A 2】以下をご覧ください。

- ① 審判員になるためには、まず、「JRFU スタートレフリーコース」（e ラーニングにて 実施）を受講して、スタートレフリーの資格を取得する必要があります。
- ② その後、小学生年代のレフリーのみをやる方は「MRR 認定講習」、それ以外の方は「C 級レフリー認定講習」を受講して、知識と技量等があると認定されればそれぞれの資格が与えられます（受講条件等については後述します）。

【Q 3】資格を取得すれば、すぐに公式な試合を担当できる？

【A 3】いいえ。登録が必要です。

資格を取得しただけでは公式戦の担当はできません。各都道府県協会に所属する必要があります。所属道府県協会はスタートレフリー受講時に選択してください（原則

として、居住地か在勤・在学の都道府県を選択)。所属協会から試合の割り当てについて連絡が届きます。

【Q4】資格を取得するのに費用はかかるの？

【A4】登録料と各認定講習受講料がかかります。

- ① 登録料は資格種別にかかわらず4年間で2,000円です。ただし、スタートレフリーは、受講料と登録料とを合わせて2,000円とします。
- ② その他の認定講習会受講料は以下の通りです。
 - ・MRR認定講習会… 3,000円
 - ・C級認定講習会… 3,000円 (中略)

【Q5】資格更新方法は？

【A5】更新条件を満たした上で登録料を納入すれば資格が更新できます。

- ① スタートレフリーは、「JRFU スタートレフリーコース」再受講が更新条件です。この際に、新たな登録料を納めていただきます。
- ② その他の資格更新条件、登録料納付方法は別途連絡いたします。

【Q6】スタートレフリーを取得した同一年度にMRR（あるいはC級）資格を取得した場合、登録費はスタートレフリー分とMRR分を合わせて支払うのか？

【A6】同一年度にスタートレフリー資格と上級資格を取得した場合、その都度、登録料を納めていただきます。(中略)

【Q10】C級以上の資格取得者は新たにMRR資格を取得できるか？

【A10】できません。(中略)

【Q11】MRRの有資格者はC級資格を取得できるか？

【A11】できます。

MRR資格取得者は「C級認定講習会の受講」「フィットネステスト合格」「実技検定合格」によって、C級審判資格を取得できます。ただし、MRRから直接B級へはステップアップできません。(以下略)